

----- さやま・文化の息吹 -----

表現力は生きる力

劇団白（ホワイト）るうぶ

代表 岸野智子

子どもたちはみんなと同じでありたいと努力しています。同じことでお友だちになれる時期なのだけれど、どんどん個性があらわれて違うからこそ素敵な関係が築いていけるようになります。そんな個性を自分自身が好きになるお手伝いをしたいとはじめた、小・中学生を対象にした劇団です。もちろん大人も参加できます。

思いきり遊んで身体も心も開放して仲間になることから始め、自分を好きになることやそのままの他人を受け入れることでコミュニケーション力を育みます。また劇づくりは、表現力をつけるだけでなく、出来ない自分としっかり向き合う時間になります。出来ないことがマイナスでないことを体験できたと思います。

たくさん子どもたちと出会いたいと活動していますので、遠慮なく遊びに来てください。

問合せ：岸野（ :090-1703-5491）



吟詠連盟・湘南の旅 - 9月2日・3日 -

成田樹岳（狭山市吟詠連盟）

「アッ、天守閣が見える。小田原城だ」。ここは海拔283m、太閤の一夜城で名高い石垣山の展望台。秀吉が淀君を伴い、また政宗と「関東の連れ」をしたと言われる城跡である。9月2日と3日、御一行31名様、恒例の研修旅行である。ひるめしは「鈴廣」、腹七分。不足分は店の試食品をつまみ食い。あな嬉し。

湯河原、大滝ホテルの間欠泉。「私は源泉ですよ」と湯煙たてて自己主張。その夜のパーティ、さすが声自慢。十数曲残しておひらき。お気の毒さま。

「こころなき 身にもあはれは 知られけり 鳴立つ澤の 秋の夕暮」西行法師が陸奥へ下る途中、この大磯の地で詠んだ和歌である。草庵がつくられ鳴立庵(しぎたつあん)という。

しっとり静かな佇まいの高麗山。その麓に高来神社と高麗寺がある。神社は「こうらい たかく」と読み方を変え、地名は高麗(こま)である。ここ花水川一体は7世紀「唐ヶ原・もろこしが原」と呼び、若光王の上陸地点かも？何も語らぬお屋代と寺は、仲よく同じ境内に鎮座している。

旧相模川橋脚は臼くづきである。頼朝は政子の妹(稲毛重成の亡妻)の追善供養に架けられた橋の開通祝いに出席、帰途に落馬、40日後死亡している。源氏一族の亡霊、平家一門の祟りぞと噂されているところ。橋脚が発掘され、保存作業中を見学する。

遊行寺・時宗の総本山。広大な森林の中に寂として存在している。巨大な木造の本堂には人ひとりいず、私共を招いている。「御本尊はどなた様ですか？」仏様は無言。ひんやりとした畳の上に座る。藤沢市は寺の門前町である。相模の国、一の宮・寒川神社は堂々たるもので、新しく親しみやすい。麦茶のボトルを買う。呑み疲れ、歩き疲れ、それでもバスはカラオケの大パレード。ご苦労さまでした。



宮岡自動車(株)

ミヤックス

狭山市入間川4-1-22 :2954-3300

(有)セレモニーホール石川

どなたでもご利用できます

狭山市富士見2-21-27 :2950-4811